



# 坂祝幼稚園「よみきかせ講座」アンケート結果

坂祝幼稚園「よみきかせ講座」アンケート(紙面ワークショップ)の回答からの抜粋です。それぞれの本への想いが伝わり、とても暖かい気持ちになります。この思いを共有することで、お子さんへのよみきかせやご自身の気分転換としての読書にこれまで以上に興味をもっていただけると嬉しく思います。

中央公民館図書室にコーナーを設けますので、ぜひご覧になってください。



西巻茅子(こくま社)

・次々と柄が変わるワンピースを楽しみながら読みました。  
・「こんなワンピースが欲しい」と母にお願いした覚えがあります。



西内みなみ/堀内誠一  
(福音館書店)

・幼稚園に行きたくない時、母親がこの本を読んでくれて大好きになりました。その後幼稚園が好きになり笑顔で登園した記憶があります。



長谷川摂子/ふりやなな  
(福音館書店)

・テンポの良い展開、声に出して心地よい日本語、魅力的な絵、この本を子どもに読んであげたいと思っていました。



ハイน์リッヒ・ホフマン  
(ほるぷ出版)

・絵や内容が子どもながらに怖かったのですが妙に心に残って何度も読みました。



マリア・テルリコフスカ/  
ポプダン・プテンコ  
(福音館書店)

・形をかえながら冒険していく「しずくくん」。イラストがユニークで表情豊かでとても楽しかった。



minchi  
(岩崎書店)

・一歳半くらいの子どもの「あるある」な行動が描かれている本です。子育てに疲れてしまった時に会ったら、くすくすと笑ってしまうようなかわいい行動ばかりでした。「うちの子もやってたな…」と成長したことに感謝する気持ちになれた一冊でした。



ヨシタケシンスケ  
(ブロンズ新社)

・子どもの頭の中をのぞかせてもらった気分になりました。おもしろかった。



ハンス・ウィルヘルム  
(評論社)

・息子が小学1年生の時に読んだ絵本。『毎晩寝る前に愛犬に「大好きだよ」と伝えていたから、いくらかきもちがらぐだった』という場面がとても考えさせられました。息子と寝る前、今日がんばったことや良かったことを伝え合うようになりました。



ドロー・マリ  
(ペンギン社)

・長男が小学校に入學して初めて借りてきた本でした。くんちゃんと同じように新しい環境に戸惑いながらも頑張ってるんだな、と思って胸が熱くなりました。



小手鞠い/高橋克也  
(出版ワークス)

とにかく絵がかわいくてキレイ。夢があり、子どもも親も楽しめます。

## 一般向け図書



東野圭吾(集英社)

・ページをめくる指がとまらなくなったのは今のところこの「白夜行」だけです。東野さんはみんな面白いのですが、白夜行は衝撃度が違います。2人の行動にドキドキしながら読み終えてしまいました…



原田マハ  
(徳間書店)

・心が浄化されるような素敵な物語です。



上全2冊  
ユヴァル・ノア・ハラリ  
(河出書房新社)

・迷いが晴れてスッキリする。